

「なるほど絵文字」をつくろう

本題材で育成する資質・能力

コミュニケーションを行う力、高い志・使命感

- 1 日時 平成30年10月30日(火)
- 2 学年・学級 第1学年 3組36名 (男子18名 女子18名 計36名)
- 3 題材の目標と題材設定の理由

題材の目標

○伝達の表現に関心を持ち、文字の表す意味からイメージをふくらませて表現の構想を練り、材料に合った表現方法を工夫して創造的に表現させる。

題材観

本題材は、中学校学習指導要領美術編の第1学年「A表現」(1)イ「(ア)構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること」、「A表現」(2)ア「(ア)材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと」を受けて設定した。デザインされた文字の造形性や機能性について再認識し、伝達の表現に関心を持ち、文字の表す意味からイメージをふくらませて表現の構想を練り、材料に合った表現方法を工夫して創造的に表現できるようになることがねらいである。絵文字を構想する際には「面白さ」「美しさ」などの、構成によってもたらされる特質や感情を理解し、洗練されたデザインを追求することが必要である。また、制作に当たってはポスターカラーの特性を生かす表し方を考えて、創造的な技能を発揮する必要もある。これらのことから、表現意図を明確にした発想や構想の能力、及び表現技能を伸ばすために有効な題材である。

生徒観

事前に行ったアンケートから、「美術の授業が好き」と答えた生徒は80.5%であった。また「よいアイデアが浮かぶように、あきらめずに身に付けようとしている」生徒は72.2%で、授業に積極的に取り組む生徒が多いことが分かる。一方で、意欲はあるが「どのようなデザインにするかいろいろ考えることが苦手だ。」と思っている生徒が47.2%いる。その理由は「アイデアを出しても絵に表すことがなかなかできない」「こんな感じにしたいと頭の中では考えることができて、どう表現していいのかわからない。」がほとんどで、「よいアイデアを出すためには、どうしたらよいと思いますか」という問いに対しては、「字の意味を調べ、そこから想像をふくらませる。」「よく使う言葉などをイメージして、形がおもしろいなと思う字を具体的に描く」などの回答が返ってきたが、実際には「なるほど絵文字」の制作はとても難しそうと思っている生徒もいる。授業の様子を見ると作品を制作する際に、何を描けばよいのか思いつかず、つまずく生徒も多い。学習内容の定着についても個人差があり、特にアイデアスケッチでのつまずきがよく見られる。

以上のことから、本学級の生徒には、見方を変えて思いがけない美しさや面白さを発見し、創造的な発想・構想をして表現する力、また、自分の心の中にあるイメージに合った表現をしようとする工夫し作品を制作する力に課題があると考えられる。

指導観

本学級の生徒の課題を克服するために、「ものの見方や感じ方を広げること」「イメージを具現化させるための手立てを充実させること」を指導改善のポイントとした。前者について、具体的には、授業の振り返りや発表を多くの場面で取り入れ、作品を通して気付いたことや感じたことを、豊富な「ことば」で表現させていく。このことにより、生徒たちは他者の美術的なものの見方や感じ方、表し方に触れ、自分の見方や感じ方などを深めることができると考えている。本時にもこの活動を組み込んでいく。後者については、イメージ具現化のための支援として、まず、ばらばら絵文字などのクイズに取り組みせ、絵文字の面白さや美しさを十分に味わわせる活動を取り入れる。このことにより作品を具体的にイメージすることができ、自分らしい豊かな表現を構想できると考えている。

また、「ことば」での表現を記録し振り返りに生かすため、本題材の全時間を通して使えるポートフォリオ形式のワークシートを作成した。まず、題材提示の初めに絵文字のデザインを想定したパフォーマンス課題を示し、イメージにあった表現ができるようワークシートに表現させる。その工夫点や発想などの意図を伝え合わせ、表現力の向上に努める。

4 本題材で身に付けたい資質・能力

- 絵文字の面白さや美しさを味わい、文字の表す意味からイメージをふくらませて表現の構想を考え、積極的に他者と意見交流できる。【コミュニケーションを行う力】
- 他者の美術的なものの見方や感じ方、表し方に触れ、作品を具体的にイメージし、自分らしい豊かな表現を創意工夫する。【高い志・使命感】

5 題材の評価規準

ア 美術への関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
①文字の表す意味とイラスト表現が一致した絵文字の面白さやよさを味わおうとしている。 ②見る人の気持ちを考えて表現することに関心を持ち、主体的に構想を練り、文字やイラストを工夫して表現しようとしている。	①文字の表す意味とイラスト表現が一致した絵文字の面白さや美しさを伝えるために、形や色彩などの効果を生かし、分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練っている。	①アイデアスケッチを描くことを通して表したいイメージを具現化している。 ②ポスターカラーの特性を生かしながら表現意図に合う方法を創意工夫するなどして表現している。	①文字の表す意味とイラスト表現が一致した絵文字の工夫を感じ取り、伝達のためのデザインの面白さやよさを味わっている。

6 題材の指導計画

(全10時間 本時 4 / 10)

次	学習内容	評 価				資質・能力との関連	
		関	発	創	鑑		評価規準 (評価方法)
一	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">課題設定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">情報収集</div> <p>「ばらばら絵文字」クイズに取り組み、作品に触れる中で絵文字の表現に関心を持つ。</p> <p>(1)</p>	○				ア①文字の表す意味とイラスト表現が一致した絵文字の面白さやよさを味わおうとしている。	パフォーマンス課題を自分の課題として捉え、その解決に向けて積極的に関わろうとする。
二	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">まとめ・創造・表現</div> <p>初発のアイデアを複数スケッチに表す。</p> <p>(2)</p>	○				イ①文字の表す意味とイラスト表現が一致した絵文字の面白さや美しさを伝えるために、形や色彩などの効果を生かし、分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練っている。	イメージにあった表現ができるようワークシートに表現し、意図に応じて創意工夫する。
三 (本時)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">課題設定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">整理・分析</div> <p>教師が提示する参考作品を鑑賞し、目的や条件、工夫点について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px; margin-top: 10px;">まとめ</div> <p>考えたことをもとに作品化するアイデアを絞って決定し、スケッチを練り上げる。 作品化にあたって工夫したい点を文章でまとめる。</p> <p>(1)</p>	○			◎	ア②見る人の気持ちを考えて表現することに関心をもち、主体的に構想を練り、文字やイラストを工夫して表現しようとしている。 ウ①アイデアスケッチを描くことを通して表したいイメージを具現化している。	他者の美術的なものの見方や感じ方、表し方に触れ、作品を具体的にイメージし、自分らしい豊かな表現を創意工夫する。
四	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">創造・表現</div> <p>構想を基に、学習した技能を生かして制作する。</p> <p>(5)</p>			○		ウ②ポスターカラーの特性を生かしながら表現意図に合う方法を創意工夫するなどして表現している。	絵文字の面白さや美しさを味わい、文字の表す意味からイメージをふくらませて表現の構想を考え、実行する。
五	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">振り返り</div> <p>学習してきたことを振り返り、ポートフォリオの始めと終わりを見渡して成長したと思うことを文章でまとめる。</p> <p>(1)</p>				○	エ①文字の表す意味とイラスト表現が一致した絵文字の工夫を感じ取り、伝達のためのデザインの面白さやよさを味わっている。	

7 本時の学習(4時間目)

(1) 本時の目標

○自分の考えやイメージをまとめ、創意工夫して絵文字のデザインを表現することができる。

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動	指導上の留意点(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準 (評価方法)
導入	1 前時までの学習の流れを確認する。 2 本時のめあてを知る。(5分)	◇前回までの学習内容とポートフォリオAで描いた「絵文字」のデザインをもっと「なるほど！」に近づけるために本時の学習目標を設定する。 ◇めあてを確認することで、学習に対して意欲を持てるようにする。	
	もっと「なるほど！」にするために、デザインを考えよう。		
展開	3 教師が提示する参考作品を鑑賞し、工夫点について考える。(10分) ・ポートフォリオ①に工夫点を書く。	◇参考作品の「絵文字」を提示する。 ◇生徒作品の幅広い表現に触れさせ、デザインの意図や表現の工夫などについて考えさせる。 ◇文字の形や色などに着目させ、見る人が「なるほど！」と思える作品の共通点や工夫点を考えさせ、黒板に掲示するなどして生徒に意識させる。 ◇◆個別指導を行い、作品の見方や考え方について支援を行う。	○見る人の気持ちを考えて表現することに関心をもち、主体的に構想を練り、文字やイラストを工夫して表現しようとしている。 (行動観察) (ポートフォリオ)
	言語活動の充実		
	4 ポートフォリオ①に記入した工夫点について発表する。(10分)	◇自分の考えと比較しながら聞かせるようにする。 ◇それぞれのデザインの工夫点を挙げさせ、その工夫点を整理することで美しく構成するための要素を確認させ、自分の作品に取り入れられるようにする。	
	・『道』のしんによろが足跡になっている。 ・『豆』の字が全部豆で表現されている。 ・『実』の字が根っこから表現されて、実をつけている。		
	5 ポートフォリオ②に工夫点を書く。(5分) 6 ポートフォリオを活用する。(15分) ・考えたことを「絵文字」にする。自分らしい表現を考え、構想を練る。 ・作品について発表する。	◇自分の作品をもっと「なるほど！」に近づけるためにどんな工夫ができるか考えさせる。 ◇イメージをさらに広げるために積極的に他者と意見交流をする。(ペア学習) ◇ねらいに応じた表現を見つけ出し、どのような工夫ができるかを考えさせ、表現させる。 ◇◆イメージがふくらみにくい生徒に対しては基になる文字からイメージしたことをどのような形で表せるか支援を行う。 ○書画カメラを使い作品を紹介する。	◎アイデアスケッチを描くことを通して表したいイメージを具現化している。 (行動観察) (ポートフォリオ)
まとめ	7 授業を振り返り、自己評価を記入する。(5分)	○本時の成果と課題を具体的に指摘し、次回につながるような示唆を与える。 ○次時の活動内容を説明 ◇◆ポートフォリオを提出させ、自分のイメージに合った表現が十分に出来なかった生徒については支援を行う。	

題材の指導計画（別紙）

時間	1	2 3	4 (本時)	5 6 7 8 9	10
題材	「なるほど絵文字」をつくらう				
学習過程	<p>課題設定(1)</p> <p>「ばらばら絵文字クイズに挑戦」して絵文字の楽しさを発見しよう。</p> <p>情報の収集</p>	<p>まとめ・創造・表現</p>	<p>課題設定(2)</p> <p>「もつと」なるほど！にすることをデザインを考えよう。</p> <p>整理・分析「参考作品の分析」</p> <p>まとめ</p>	<p>創造・表現</p> <p>ポスターカラーの特性を生かしながら、表現意図に合う方法を創意工夫しよう。</p>	<p>単元の振り返り</p>
生徒の活動	<p>作品制作への意欲</p>	<p>アイデアスケッチ</p>	<p>アイデアの修正</p>	<p>制作</p>	<p>鑑賞会</p>
関心・態度	<p>・文字の面白さや良さに関心を持つようとする態度</p>		<p>・表現への関心。主体的に構想や、デザインを工夫する態度</p>		
発想・構想		<p>・効果を生かした表現の構想</p>			
創造・技能			<p>・表現したいイメージの具現化と表現のための創意工夫</p>	<p>・表現意図に合う方法の創意工夫</p>	
鑑賞					<p>・工夫点、面白さ良さの鑑賞</p>
「課題発見・解決学習」のための指導のポイント	<p>○絵文字の面白さや美しさを十分に味わわせる活動を取り入れる。</p> <p>○クイズを通して、文字と絵の関係性を理解させる。</p> <p>○絵文字の表現の巧みさを実感させることで『なるほど!』と思わせる。</p>	<p>○イメージにあった表現が出来るようにポートフォリオを活用する。</p> <p>○共通課題(口・牛)で練習させ絵文字作りへの意欲を高める。</p>	<p>○他者の美術的なものの見方や感じ方、あらわし方に触れ、自分のものの見方や感じ方を深めさせる。</p> <p>○作品を通して気付いたことや感じたことを、豊富な「ことば」で表現させる。</p> <p>○「ことば」での表現を記録し振り返りに生かすため本題材の全時間を通して使えるポートフォリオを活用する。</p> <p>○イメージに合う表現が出来るよう、ポートフォリオに表現させ、その工夫点や発想などの意図を伝え合わせ、表現力の向上につとめさせる。</p>	<p>○絵文字の面白さを味わい、文字の表す意味からイメージをふくらませて表現の構想を考え、実行する。</p> <p>○「色遊び」を行うことで、作品作りの基礎となる色彩学習を行う。</p> <p>○基礎的な知識技能を身に付けさせ、表現に生かす。</p>	<p>○鑑賞会を行い、作品に対して、達成感・満足感を持たせる。</p> <p>○新たな課題の発見につなげる。</p>
資質・能力	<p>○コミュニケーションを行う力 ・絵文字の面白さや美しさを味わい、文字の表す意味からイメージをふくらませて表現の構想を考え、積極的に他者と意見交流できる。</p> <p>○高い志・使命感 ・他者の美術的なものの見方や感じ方、表し方に触れ、作品を具体的にイメージし、自分らしい豊かな表現を創意工夫する。</p>				
	<p>・学習のゴール(先輩の作品を越えよう)の提示</p>		<p>・ワークシートの工夫</p>	<p>・より高いレベルの他者の作品の鑑賞</p>	